

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立まきば公園	所管課	畜産課
所在地	山梨県北杜市大泉町西井出8240-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成6年3月28日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県子牛育成協会、平成21年4月1日～平成26年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立まきば公園の設置及び管理条例 山梨県立まきば公園の設置及び管理条例施行規則		
設置目的	①動物とふれあうことや主催事業の実施を通じて、畜産に関する知識を啓発し、畜産のPRを行うこと。 ②緑豊かな自然の中で動物と触れ合うことにより、県民に保健休養の場を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	畜産資料展示室、まきば広場、自由広場、動物ふれあい広場、羊牧場、ポニー広場、野鳥の森、駐車場等(ふれあい動物として、めん羊、ヤギ、ポニー等を飼育)		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ○施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○動物の飼養管理に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・めん羊の増殖・売却 ・ふれあい動物の飼養管理(めん羊 40頭、山羊 6頭、ポニー 8頭、その他9頭) ○牧草の栽培に関する業務 ○畜産に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・フェルト教室の開催(6回 274人) ・きのこ教室の開催(1回 21人) ・めん羊の毛刈り体験(1回 70人) ・まきばウォーク(5回 29人) ・リサイクルアート体験(2回 153人) 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・利用状況等	なし
---------------	----

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	来園者数	250,390	218,130	229,870	
	うち主催事業参加人数	(395)	(435)	(547)	547
	利用者数合計	250,390	218,130	229,870	
	目標値	230,000	240,000	240,000	240,000
	目標値設定の考え方	事業計画の年間入園者数以上の確保を目標とする。	事業計画の年間入園者数以上の確保を目標とする。	事業計画の年間入園者数以上の確保を目標とする。	前年度の目標値と同数で設定する。
	対21年度比	100.0%	87.1%	91.8%	95.9%

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	無料施設	無料施設	無料施設	無料施設
	指定管理者委託料	16,830,137	16,910,729	16,910,729	16,898,859
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	16,830,137	16,910,729	16,910,729	16,898,859
支出	人件費	10,130,366	9,593,876	10,005,564	9,593,876
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	5,845,826	7,316,853	7,601,913	7,304,983
	(うち外部委託費)(B)	1,233,508	1,443,433	1,240,947	1,447,633
	支出合計(C)	15,976,192	16,910,729	17,607,477	16,898,859
収支差額(A-C)		853,945	0	-696,748	0
外部委託比率(B÷C)		7.7%	8.5%	7.0%	8.6%
利用者一人当りの経費		77	70	74	70

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年8月～10月 実施方法:利用者へのアンケート 回答数:154人
-------	---

単位:%

調査項目		満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設・ 設備管 理	園内の誘導サイン・看板等のわかりやすさ	88.2%	9.8%	2.0%	—
	トイレ及び休息施設の場所や設置数、使いやすさ	50.6%	38.3%	11.1%	—
	花壇・遊歩道などの園内施設の手入れ状況	92.0%	8.0%	0.0%	—
まきばの館展示室の展示内容		73.9%	24.2%	1.9%	—
公園職員の対応		90.0%	10.0%	0.0%	—
まきば公園に来る前の期待と比較して、満足いただけたか?		88.5%	11.5%	0.0%	—

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	○放牧地を地図看板を見て歩いていたら立ち入り禁止になっていた。 ○トイレの数、洋式トイレ、四阿が少ない。また雨の日は居場所がない。 ○ビデオを活用した動物の説明がほしい。花の写真展示が良かったので、樹木の写真展示もほしい。
利用者の意見への対応	○牧場の衛生管理区域等の問題もあり、牧場管理業務と連絡調整しながら新たな看板作成等により対応しており、今後も計画的に更新を進めていく。 ○施設は利用者が安全快適に使用できるよう、巡回・点検・清掃を励行している。施設の新規設置は協会独自では困難であり、施設設置者である県に要望していく。 ○パンフレットや各種展示により畜産とハケ岳の自然をPRした。ビデオ上映は機材・ソフトの調達を含め検討していきたい。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の支障にならないよう清掃・環境整備を行なった。 ・開園前・清掃時に建物等の点検を実施し、利用者が安全快適に利用できるよう努めた。 ・園内巡回、警備員の誘導・警備により、混雑緩和と利用の安全確保に努めた。 	<p>事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されていた。引き続き事業計画に沿った業務を適正に執行されたい。</p>
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい動物の老齢化により計画的更新が必要。 ・適正な草地及び景観の管理に努めた。 ・フェルト教室等を開催し畜産の知識普及に努めるとともに他団体の新規イベントを招致した。またフェスタまきば開催に支援協力した。 ・誠意を持って案内業務や接客対応した。 ・ホームページ等によるPR活動を更に充実し、来園者及びイベント参加者の増加を図った。 	<p>事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されていた。イベント回数の増加・招致など、来園者確保に向け引き続き努力されたい。</p>
自主事業		
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者数は計画の96%であったが前年を約5%上回り回復傾向にある。 ・イベント参加者数は新たなイベント開催により増加しており、引き続き内容の充実と企画立案に努めていく。 ・集客については、まきばレストランのみならず、地域観光施設等と連携を図っていく。 	<p>引き続き、施設やイベントのPRを行うとともに、イベント回数の増加及びイベント内容の充実を図るなど、年間来園者目標数の維持拡大に努められたい。</p>
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度決算より減価償却費を公園管理費に仕分けしたことにより赤字となったが、減価償却費は指定管理料に計上されていないため、他経費節約により捻出し収支相償に努める。 ・施設・備品は経年劣化等で修繕・更新の必要があるが、保守管理・点検整備を綿密に実施することで、修繕費等の低減を図った。 	<p>やむを得ない事情での赤字であるが、修繕費低減等により減価償却費の捻出を図り、収支相償に努められたい。</p>
利用者満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のほとんどが満足・やや満足と回答しており、満足度は高い。 ・景観のすばらしさや動物とのふれあいに満足したとの意見が多く、施設の使命・役割を果たしている。 ・日常管理を適正に実施し、施設の更新・整備を県と協議の上で計画的に進めながら、より親切丁寧な対応に努め、利用者の満足度を維持していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理や職員対応に関する利用者からの評価は概ね良好であった。トイレ・休息場所の数や種類を増やしてほしい等利用者からの要望については、利用状況等を勘案しながら検討していきたいと考えている。 ・引き続き園内清掃や手入れを念入りに実施するとともに、事故が発生しないよう十分な注意を払い、高い満足度を維持するようサービスの向上に努められたい。
運営目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・入園者数は昨年を上回り、また主催事業の参加人数も目標値を上回っており、目標は概ね達成されている。 ・新たなイベントの開催や内容の充実を図ること等で、参加人数の増加を図っている。 	

施設所管課による総合的な評価及び指導事項	○各種業務は適正に実施され、利用者からの評価も概ね良好であり、利用状況についても概ね計画どおりの実績を上げていることから、努力を高く評価できる。 ○引き続き、年間来園者目標数を確保するようPRを行い、イベント回数の増加及びイベント内容の充実を図ること。また、高い満足度を維持するようサービスの向上に努めたい。
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	○ホームページや観光情報誌、新聞、県公報誌などを活用したPRを実施している。また、イベント回数の増加も計画しており、来園者数の増加に向けて取り組んでいる。

7. 管理体制(組織図)

